

令和2年12月16日(水) 13:30~15:10

南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

1 出席者

(委員)

委員10名(2名欠席)

(事務局)

長寿・保険課長他4名、委託業者2名

2 議事

I. 老人福祉計画及び介護保険事業計画【第8期】素案について

事業計画(素案)第1章から第3章について、事務局より説明を行った。

事業計画(素案)第4章 施策の展開「地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進について」、事務局より説明を行った。

【質疑応答】

(意見) アンケート調査の中に、困ったときに気軽に相談ができる仕組みづくりに取り組むべきという回答が約60%あり、身近な民生委員のところに行けて、解決につなげるには、より身近な地域ケア会議の開催が必要だと感じた。

(質問) 地域ケア会議の中では、どのような課題が出てきて、それをどのように施策に反映されていくのか。

(回答) 各地区共通しているのが、認知症の方でこういった方がこういったところに相談に行ったらいいんだろうという相談が多い。

また、地域の課題ということで、高齢者の交通手段に困っているという課題が多く出てきている。

対応策については、計画の内容で説明させていただく。

(意見) 現在、21か所の市民交流センターで地域ケア会議を開催できないか。身近なところで相談が上ってくる、窓口としての地域ケア会議ができたらいいと思う。

(回答) 今後検討させていただく。

(質問) 66ページの「食」の自立生活支援について、上限利用が週3回になっているが、令和2年度は利用者が増えてきており、回数に制限がかかっている。利用者が増えてくる中で、委託先を増やすというような考えはあるか。

(回答) 来年度以降の事業の在り方については委託先とも検討をしているところ。

- (質問) 緊急通報システムについて、令和元年度、令和2年度と利用人数が減ってきているのは何が原因なのか。メンテナンスは誰がするのか。
- (回答) メンテナンスについては、市で行っている。
- (意見) 家族介護慰労について、対象者を見直すなど制度を緩和していただけたらなと思う。
- (回答) 要介護3以上で在宅で生活しており、介護サービスを受けていない人は、なかなか現実いない。今後、県などに基準緩和についても要望していきたい。
- (意見) 障害の方も多い中で今回言われているのは8050という、80歳の高齢の方が50歳の人をみてる。この問題についても、市で精査して方向性などを付け加えてもらえたらなと思う。

高齢者の持てる力を活かす支援について、事務局より説明を行った。

【質疑応答】

- (質問) 高齢者等元気活躍推進事業の実施の中で、おもいやりポイント制度の新規登録者数が年々減っているのはなぜか。
- (回答) 平成30年度から始まった事業で、初年度の登録が多かった。令和2年度はコロナの影響もあり、大分活動を抑えていたと聞いているので、令和3年度からは令和元年度に近い形でもう少し新規登録者数を増やしていきたい。
- (意見) 高齢者大学うずしお学園について、だんだん数が減ってきているが、減ってきている中で聴講生が多いのではないかと思う。受講会場までの移動手段が大変と聞くことがあるが、その方向性も考えていっていただきたい。
- (意見) 老人クラブ活動の支援について、役員のなり手が無いというのが単位クラブのなくなっていく一番の原因。役員をするのが嫌でやめてしまおうかというような声があったりして、何とかしないとイケないとは思っている。

認知症施策の推進、介護サービスの充実について、事務局より説明を行った。

【質疑応答】

- (質問) 認知症地域支援推進員の状況はどうなっているか。
- (回答) 認知症地域支援推進員に関しては、国の定める推進員研修を受けて、認知症の人も暮らしやすい地域づくりをするために動いていくという目的を持った職員。包括の中に3名その研修を修了した者がおり、認知症の方の生活の検討、窓口相談などを行っている。

II. 老人福祉計画及び介護保険事業計画【第8期】素案の意見公募について
事務局よりパブリックコメントについて説明を行った。

3 その他

(1) 次回会議の日程について

次回はパブリックコメントの結果を踏まえて審議いただきたいとの事務局の説明により、次回会議日程の調整を行った結果、第4回策定委員会は2月3日（水）13：30～と決定した。

4 閉会